

平成27年度第1回東成区区政会議 会議録

1 開催日時 平成27年6月23日（火） 10時30分から12時5分まで

2 開催場所 東成区民センター 2階大ホール

【委 員】

清水 弘（議長）、濱田 麗史（副議長）、石塚 克哉、市田 稔子、上田 利明、
梅本 千代子、岡坂 明、岡本 秀男、桂 洋子、家門 昇次、北岸 佳子、
桑田 泰彦、五ヶ山 絹代、五嶋 キクエ、小谷 早苗、小林 智恵子、塩田 保寿、
篠崎 桂子、清水 栄二、杉原 博、田中 英夫、辻 日出子、永田 久、
中野 壽夫、西野 功、西村 良之介、橋本 輝枝、浜 信司、平田 芳男、
藤溪 達夫、古山 治、増田 博、松井 克記、松山 正樹、宮田 孝夫、
山本 忠男、吉田 五郎

【市 会 議 員】

川嶋 広稔、岡崎 太

【府 会 議 員】

徳永 慎市

【東成区役所】

森本 万喜子（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、河合 宏成（総務課長）、
笹部 毅（区政推進担当課長）、中浦 進（まちづくり推進課長）、
原 敏浩（地域活動支援担当課長）、小谷 周三（窓口サービス課長）、
中川 正己（保健福祉課長）、西山 明子（児童・保健担当課長）、
大西 茂樹（生活支援担当課長）

4 委員に意見を求めた事項

平成26年度東成区運営方針の振り返りについて

平成27年度東成区予算概要（子ども・教育部会）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○笹部課長　　おはようございます。皆さん、本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、東成区役所区政推進担当課長の笹部でございます。座って失礼させていただきます。

ただいまから平成27年度第1回目の東成区区政会議を開催いたします。

まず、最初に本日の区政会議の出席状況ですが、44名中、37名の委員の出席をいただいております。したがって、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条5項に基づきまして、定数の2分の1以上の参加が認められていることから、本会議は有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

それでは、まずお手元の資料のご確認をさせていただきたいと思います。区政会議配付資料一覧といたしましては、次第の下の方に四角囲みの中の記載のとおりでございます。資料の1といたしまして、配席図、資料の2で委員名簿、資料3で26年度東成区区政運営の振り返り資料、資料4で平成27年度東成区予算概要についてでございます。なお、参考資料といたしまして、26年度東成区運営方針自己評価シートを添付してございます。

それでは、今年度第1回目の区政会議となりますが、昨年度第2回の区政会議以降、一部委員の交代が生じておりますので、私のほうから新委員をご紹介します。委員の方は、その場でご起立をお願いしたいと思います。

東成防犯協会からの推薦委員といたしまして、米谷晴生様にかわりまして岡坂明委員でございます。

○岡坂委員　　よろしくお願いします。

○笹部課長　　東成地区保護司会からの推薦委員といたしまして、舩津一男様にかわりまして杉原博委員でございます。

○杉原委員　　杉原です。よろしくお願いします。

○笹部課長　　東成区医師会からの推薦委員といたしまして、川上朗様にかわりまして長田栄一委員でございます。なお、長田委員につきましては、保健福祉部会の議長にご就任いただいておりますが、本日は所用のためご欠席となっております。

以上が新任の委員の皆様のご紹介でございます。なお、新任委員の皆様の任期につきましては、前任の委員の方々の残任期間となります。その点、よろしくお願いします。したがって、平成27年9月30日までとなっております。

それでは、開会に先立ちまして区長の森本より一言ご挨拶申し上げます。

○森本区長　　皆さん、おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきまして本当

にありがとうございます。今日は、平成27年度の第1回区政会議ということになります。それとちょっと先週末から声がかれておりまして、お聞き苦しい点あるかと存じますが、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

本日の区政会議は、平成26年度の運営方針の振り返りにつきまして意見を賜るとともに、昨年の区政会議に案としてご報告しておりました運営方針に基づきました予算について、確定したものの概要をご説明させていただきたいと存じます。また、昨年度の区政会議でなかなかこちらの説明のほうが長くて、委員の方々同士の意見交換ができないんじゃないかということもご指摘がありましたので、今年度につきましては部会ごとにテーマを決めて、委員間で意見交換をしていただいたらどうかなということをお願いし、3部会を事前に開かせていただきましたところ、熱心にご議論をいただきまして、テーマをお決めいただいております、後ほど代表の方からご報告をいただくと思います。その意見交換をいただいた結果につきましては、すぐには実現できないこともあるとは存じますが、予算でありますとか、施策に活かしていきたいと思っておりますので、それも合わせてよろしくお願いいたします。

また、運営方針の今日の評価につきましては、主なものを挙げておりますが、部会のほうでもご意見をいただいたんですけども、当初めざした基準に達しておりますので、目標を達したというふうになっておりますけども、いろいろ課題があるものにつきましては、目標を達しておりますでも引き続きよりよいものになるよう区役所といたしましても努力をしてまいりたいと思っております。

また、この区政会議でご意見を活かしたことや、それから区政モニターのアンケート等活かした予算もございますので、またそれは河合総務課長のほうからご説明をさせていただきます。

さて、大阪市では区政会議を含めまして審議会等への女性活躍促進ということを女性の登用ということで進めておりまして、委員の40%を女性にという目標がございます。また、先ほど言いました改選の折には、ご相談・ご協力を仰ぐこともあると存じますのでよろしくお願いいたします。

そして、東成区は今年4月で90周年を迎えました。皆様とともにその90周年を祝うとともに、この90周年の重みを受けとめまして、よりよい、住みよい、いつまでも住んでいただける東成区となりますよう引き続き努力をしてまいりたいと思いますし、皆様方の引き続きのご協力・ご支援をお願いします。

少し長くなりましたけども、本日の区政会議、どうぞよろしくお願いいたします。

○笹部課長　　続きまして、会議の進行に当たっての注意事項を申し上げます。まず、当区政会議は条例で公開することとなっておりますので、その点、ご了承いただきたいと思っています。

次に、傍聴者の写真撮影や録画録音につきましては、冒頭のみ自由な撮影を認めることといたします。

また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めておりまして、会議中写真撮影等することがございますが、ご了解いただきたいと思います。本日の会議内容は後日、議事録を公開する予定でございます。そちらをご参考いただければと思います。

最後に会場にお越しの皆様申し上げます。携帯電話は、電源をお切りいただくか、マナーモードをお願いいたします。また、会場内での通話でありますとか、私語ややじ等の行為はご遠慮いただきたいと思います。

それでは、清水議長並びに濱田副議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○清水議長　　それでは、早速でございますが、平成27年度の第1回区政会議をただいまより開催いたしたいと思います。

会議に先立ちまして、傍聴者の方々、注意事項がございましたけども、ひとつお守りいただきますようお願い申し上げたいと思います。傍聴者の方、済みませんが、先ほどの注意事項、守っていただきますようお願い申し上げたいと思います。

それでは、早速議事に入ります。

平成26年度東成区運営方針を振り返ると、それから2の平成27年度東成区予算概要について、同時に提案をいたします。その後、部会の報告がございまして、皆さんからのご意見を拝聴いたしたいと思います。

それでは、済みませんが役所の関係者の方、平成26年度の東成区の運営方針の振り返りと、それから27年度の予算につきましてお願い申し上げたいと思います。

○笹部課長　　よろしいでしょうか。それでは、議事の1の平成26年度東成区運営方針の振り返りにつきまして、区長の森本より取り組みの総括をご報告いたします。25ページの自己評価の総括で説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○森本区長　　よろしくお願いいたします。座ってご説明させていただきます。

これから後で細かくはご説明しますが、総括といたしまして25ページをご覧ください。この26年度の1年間につきましては、「地域力」「安全・安心（防災）」「安全・安心（防犯）」「子育て」「教育」「保健」「地域福祉」「区役所力の強化」という8つの課題を持ちまして取り組ませていただきました。一部、目標に達していないものがありますが、おおむねは順調に進捗したと考えております。長くなりますので、主なところをご説明させていただきます。

防犯対策につきましては、警察署や消防署と連携いたしまして、「安全安心ミニフェスタ」を開催しまして、区民の方や、それから子どもさんもたくさん来ていただきまして、子ども自身の防犯能力を高める取り組みを行い、一定の効果があつたのではないかと思います。また、全市的に開催されました街頭犯罪抑止チームの夜間巡回におきまして、区独自にベストを、LEDで光が発するような形のベストを着用しまして、これは後、全市的に取り入れられたということです、効果があつたと思います。

それから子育てについてでございますが、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の運用を進め、その中で地域子育てサークルの合同イベントを開催させていただきましたところ、一昨年より拡充して行ったんですけれども、大変好評でございました。地域と、それから多くの子どもさん、それから子どもを持つ親御さんがつながるように、そのためには1つの工夫として地元商店街等との連携によってカードの利便性を上げたり、また企業の方とも連携をしたようなイベントの充実を27年度はさせていただきたいと思います。また、先ほど少し触れさせていただき、部会のほうでもご議論ありましたけれども、待機児童対策につきましては、ここには書いておりませんが、ゼロにはなっておりますけれども、局や私立保育所等とも協力して、より多くの方が入っていただけるよう努力をしてみたいと存じております。

また、地域福祉につきましては、各小学校下の地域福祉活動サポーターを配置して、「おまもりネット事業」を推進して支援してまいりましたけれども、より多様なニーズに応えるために有償ボランティアの活動の仕組みの構築にも取り組みました。引き続きセーフティネットの充実を図ってまいりたいと思います。

また、区民の情報発信につきましては、広報紙の最終版に地域情報を載せる欄を設けましたり、できるだけ、こちらの区政会議でもご指摘がありましたように、わかりやすく区政情報を発信するように取り組ませていただきました。今、若い方が新聞をとってないとか、そういうこともありますので、まず裾野を広げたいということで、広報紙の配布方法

については委員の方のご意見を取り入れさせていただきまして、ひとまず27年度につきましては全戸配布の予算を確保し、配布を始めさせていただきました。後ほど予算にもありますけども、将来的には区民の方々が地域ごと、また団体などで全戸配布いただける方策も皆様とともに研究してまいりたいと存じております。

それから、2のところにまいります。防災、防犯、高齢者、子育てはもちろん今触れさせていただいて努力はしていきますけども、地域の方にも元気になっていただけるように6つの地域につきましては、広報紙でありますとか、地域独自のよりそれを広げていけるようなイベントを開催をしていただきました。それを支援する初期プロモートの事業助成もさせていただきましたので、よりこうした動きが広まるように着実に頑張っまいりたいと思います。そして、この地域の活力ある活動につきまして、より区の広報などでも発信をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

○笹部課長　以上が平成26年度の自己評価の総括でございます。

続きまして、私のほうから概要を説明させていただきます。

まず、7ページをご覧ください。資料3と右肩に書かれているものでございます。参考資料といたしまして、事前配付しておりました26年度東成区運営方針自己評価シート、これは大阪市の統一された様式でございますが、そこからの概要を抜粋し、わかりやすくまとめたものがこの資料3です。

今回は、各部会でも既にご説明させていただいておりますので、できるだけ簡略に説明をしてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、7ページの運営方針の達成状況ですが、平成26年度東成区では、8つの地域力から始まりまして、最後の区役所力の強化という8つの経営課題を設けまして、31の事業に取り組んでまいりました。そのうち、22の事業につきまして目標達成し、9事業が目標未達成という状況になってございます。個々の事業につきましては、目標達成に至っていないものありますが、施策全体といたしましては、おおむね順調に進捗することができたのではなかろうかと、そのように認識しております。具体的な内容につきましては、1枚めくっていただきまして9ページの平成26年度東成区区政運営の振り返りに沿いましてご説明いたします。

最初に経営課題1地域力ですが、具体的な取り組みといたしましては、1で地域活動協議会に対する財政的支援事業といたしまして、業績目標として全地域が地域活動協議会補助金を活用し、地域活動をマネジメントしている状態をめざしました。取り組み実績は、

区内全地域の地域活動協議会の補助金を交付いたしまして、広く住民全般を対象として、地域の実情に応じました活動が行われてきたと考えております。

次に、2の地域活動協議会に対する新たな担い手づくりの支援とともに、目標を達成したというふうに考えております。

次に、10ページの3の地域コミュニティの支援です。業績目標といたしましては、そこに記載されてありますとおり2項目を掲げております。取り組み実績は、それぞれ51.4、55.4%となり、下段4の活力ある地域社会づくりの支援とともに、目標には少し届きませんでしたが、こうした取り組みは着実に成果につながってくるものと考えております。引き続き、中間支援組織を活用しながら地域の運営を支援してまいりたいと考えております。

11ページの1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業ですが、取り組み実績は公益的活動を創出または発展させる団体が19団体と大きく目標を上回ったものですが、区民からの提案件数が2件と目標達成には至りませんでした。今後は、団体が活動や提案を行いやすくするため、ふれ愛パンジーまちづくり活動助成制度でありますとか、公募型の提案委託事業制度を創設いたしまして、区民の公益活動を支援してまいりたいと考えております。

次に、2の広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成ブランドイベントの育成事業ですが、まちおこしイベントの「ひがしなり街道玉手箱」の開催を通じまして、隣接市等との連携事業数を5件、イベント参加団体数を90団体という業績目標を掲げてまいりました。取り組み実績は、連携事業数がちょうど5件、イベントの参加団体数が91団体となり、目標達成いたしました。

次に、12ページの上段の3です。未来わがまち推進会議をかなめとした区民主体のまちづくり活動への支援事業も目標達成いたしましたので、今後はさらに自主・自立した地域活動となるように新たな支援事業について取り組んでまいりたいと考えております。また、下段の1ブログやポータルサイト等を活用した人・情報・物流等の仕組みづくりにおきましても目標達成となりました。今後は、より区民の皆様に市民活動の情報をお届けできるよう広報紙などを活用して情報発信に努めてまいりたいと考えております。

1ページめくっていただくといいですか、隣のページの13ページ、経営課題2安全・安心（防災）についてです。具体的な取り組みの1で、避難所設置・運営訓練の支援といたしまして、業績目標をそこに記載のとおり掲げました。取り組み実績は65%となっておりますので、目標達成したと考えております。

次に、下段の防災啓発の推進ですが、業績目標を災害時における自助・共助の必要性の理解度を60%と掲げました。取り組み実績は、アンケートの結果によりますと、若干低く56%と届いておりません。災害による被害軽減のためには、正しい知識と自助・共助の必要性の理解を広げていく必要があると考えておりまして、今後も広報紙等活用いたしまして、防災情報の周知に努めてまいりたいと考えております。

1 ページめくっていただきまして、14ページ、経営課題の3 安全・安心（防犯）についてですが、具体的な取り組みの1 子どもの犯罪対応能力の向上と、その次の効果的な防犯体制の充実では、高い取り組み実績が得られましたので、目標達成したと考えております。

15ページの地域防犯の意識向上におきましても、それぞれ目標達成いたしております。これに甘んずることなく、今後も引き続き工夫や改善を加えてまいりたいと思います。

1 ページめくっていただきまして16ページ、経営課題の4 子育てについてですが、具体的な取り組みの①子育てネットワーク構築支援事業、そして、隣の17ページの②なにわっ子すくすくスタート事業と、その下の保育所待機児童の解消のそれぞれの項目におきまして、目標は達成したと考えております。なお、③の保育所待機児童の解消につきましては、他に利用可能な保育所があっても特定の保育所への入所を希望するため、待っている方などがおられるというようなことがありまして、調整を引き続き行っているところでございます。今後も、保護者と地域の子育てを支える方々とのつながりづくり支援、子育て情報の充実、民間保育所への入所枠の拡大働きかけなどに取り組んでまいりたいと思います。

1 ページめくっていただきまして、18ページの経営課題の5 教育についてです。具体的な取り組みは、①のはぐくみネットを核とした学校支援のネットワークの活性化支援と、その下段の特色ある学校づくりの支援、それぞれ目標達成しております。

19ページの経営課題の6 保健についてですが、①で住民とともに考える健康づくりといたしまして、業績目標として地域健康講座におけるアンケート調査で、健康に関心を持った行動変容者を80%と掲げてまいりました。取り組み実績は、健康づくり講演会でありま^{こうどうへんようしや}すとか、地域での健康講座を開催いたしまして、89%の人々が健康に関心を持ったと書いておられ、目標達成したものと考えております。今後も、健康寿命の延伸には、食生活を初めとする健やかな生活習慣が極めて重要であるとの認識を持っておりまして、効果的な健康づくりの取り組みを一層推進してまいりたいと考えております。

下段1の感染症予防：草の根活動では、業績目標として事業参加者を対象とするアンケート調査で感染症予防の向上と、次の2の効果的な防犯体制の充実では高い取り組み実績

が得られましたので、目標達成したと思っております。

15ページの地域防犯の意識向上におきましても、目標達成しております。

失礼いたしました。感染症予防の草の根活動に戻りまして、アンケート調査で正しい手洗い方法継続意向を示す割合が70%と掲げてました。取り組み実績は、区役所の保健師が地域を訪問して普及活動を行い、それぞれ98%の方のご理解をいただいております。

次に20ページ、経営課題の7地域福祉でございますが、具体的な取り組み1で「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等の支援セーフティネット事業といたしまして、業績目標で登録者数を3,000件と掲げてまいりました。取り組み実績では、それぞれ地域行事でありますとか、フォーラム等で周知を行い3,300件を超える登録をみております。

また、下段の2の地域保健・地域福祉推進支援事業ですが、業績目標として課題解決に向けた意見交換ができていると感じる人の割合を70%以上と掲げてました。取り組み実績では、高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、健康づくり推進の4分野で専門分野別の実務者会議を開催し、意見交換を行ってまいりました。一部の分野で課題解決につながる意見交換までは至っておりませず、54%と低い数値となっております。今後は、よりスムーズに議論が行えるようコーディネートを進めてまいりたいと思います。

次に21ページ、経営課題の8区役所力の強化ですが、具体的な取り組みでは、まず区政会議の運営事業について、認知度を60%以上と設定してまいりました。これにつきまして若干低く55.9と低い数字となっておりますが、引き続き情報発信に努めまして、区政会議に対する関心が高まるように努めてまいりたいと思います。また、2の区民モニターと、隣の22ページの区民と区長のタウンミーティングについてですが、これにつきましてはそれぞれ目標達成したと考えております。

その次の地域担当制の充実ですが、業績目標として職員の意識調査で、地域の関心が70%と設定しましたが、55%と低い数字となっております。引き続き、より積極的に地域に入って情報を集めるとともに、メール等を活用しまして職員間の情報の共有に努めてまいりたいと思います。

下段の広報事業の充実ですが、これにつきましては、区民モニターアンケートにおける広報の満足度を70%と設定いたしました。これにつきまして、若干低く68.3と少し低い目の数字となっておりますが、今後広報の充実に努めてまいりたいと思います。

最後に23ページ、区民サービスの向上と効率的な業務運営、並びに相談・調整機能の充

実、それと24ページの改革を担う職員と組織風土づくりでは、それぞれに高い取り組み実績が得られたと考えております。また、2の相談・調整機能の充実におきましては、区役所では一般相談の他、弁護士、司法書士等の専門家による専門相談の枠を年間で900枠の相談枠を設けて、それぞれ地域が抱える課題の解決に尽力するという形で行っております。今後も職員自らが向上心を持ちまして、窓口サービスの向上でありますとか、多種多様な相談への対応ができる区役所づくりに取り組んでまいりたいと思います。

非常に駆け足でございますが、以上が平成26年度の区政運営の振り返りでございます。よろしく申し上げます。

○清水議長　　ただいま平成26年度東成区の運営方針を振り返ってと評価概要、並びに自己評価の結果の報告がございました。

○河合課長　　引き続き予算のほうの説明をさせていただきます。済みません、総務課長の河合でございます。私のほうから、座らせていただきまして、引き続きまして平成27年度予算の概要についてご説明いたします。

別とじになっております資料4、27ページというお手元のカラーのA3版の1枚ものの資料がございますのですが、それをご覧いただきたいと思います。

平成27年度の東成区関連予算でございますが、全体といたしまして7億7,238万7,000円、うち区役所が行う事業や区役所庁舎などを維持管理する経費でございます区長自由経費といたしまして、3億1,623万円。それと担当局が区の思いを反映して実施する事業のための経費でございます区CM自由経費といたしまして、4億5,615万7,000円を計上いたしております。平成27年度の予算編成につきましては、市における市政運営の基本的な考え方や、平成27年度の東成区の区政運営方針などを踏まえまして、区におきましては、区長が区の特性や地域の実情に即した施策を展開、充実できるよう局予算を含め予算を編成するという大阪市の基本的な考え方に基づいて編成いたしました。

市の予算編成方針で示されました裁量経費を3%削減するという方針に加えまして、東成区では区役所庁舎などを維持管理する予算を中心に5%の削減と、既存の全事業費の見直しを行いまして、区民の皆様の事業に充てられる経費を捻出したところでございます。この見直しによって生み出した経費と、また市全体で別途区の重点的事业に関して新しく措置されました区政充実枠の予算を確保いたしまして、それらによりまして、結果として区役所が行う事業に係る区長自由経費につきましては、昨年度の2億8,323万円を3,299万の増額を図りまして、先ほど申し上げました区長自由経費の3億1,623万円を計上いたし

ております。また一方、区CM自由経費として、局が区の思いを反映して計上する経費につきましては、保育ママ制度の見直し等による区予算から局予算への付けかえ等による経費で、昨年度の5億2,790万円から約7,000万円ほどの減の4億5,613万円になっております。これらを合わせまして、区長自由経費のうち区役所維持管理経費を除く実質的に区民の皆様の事業に充当できる経費につきましては、お手元の表の横の棒グラフでございますけれども、ここにございますように平成26年度は1億1,018万円でしたところを、平成27年度は1億5,028万円ほど計上いたしております、約4,000万円の増額を図れたところでございます。これによって、後ほどご説明いたします5つの主な事業分野でもそれぞれ下の枠内の平成26、27年度事業予算比較というグラフがございますけれども、これをそれぞれの事業ごとに色分けをしておりますけれども、それをちょっとご覧いただければわかりますけれども、少しずつですが、全ての事業分野におきまして平成26年度予算よりも増額を図れることになっております。以上が27年度予算の全体像でございます。

続きまして、今の資料4、A3の下半分で主な事業分野ごとの経費をご説明しておりますが、簡単にご説明申し上げます。それぞれの部会で既にご説明申し上げますので、主なところを簡単に申し上げます。

それと、1枚めくっていただきまして28ページのほうにより詳しい全事業のごとの一覧表を付けさせていただいております。また、その次の29ページ以降に事業分野ごとの部会でお示した概要も付けさせていただいておりますので、それらをご参照いただきながら簡単にご説明いたします。

まず29ページをご覧ください。1つの重点的な分野といたしまして、安全・安心なまちづくりでございますが、防災では地域の防災力を高めるため、地域特性を踏まえた防災訓練に取り組みまして、また地区防災計画の策定を進めていきます。防犯につきましては、学校との連携による子どもの防犯意識の向上や、関係機関との情報共有を進めまして、より効果的な防犯対策を進めていくという基本方針のもと予算を編成いたしました。重点的な取り組みといたしまして、そこがございますように地域防災対策事業につきましては、さまざまな災害に対応するため、地域や関係機関などの連携強化や、訓練の充実に取り組み、災害に強いまちづくりをめざしてまいります。特に平成27年度は大きな災害が起こったときの中長期にわたる避難所の運営を想定いたしまして、高齢者や障がい者、女性などの立場を考えた避難所運営ができるような資機材を備えた訓練を支援いたしまして、地域の防災力の向上を図ってまいります。

具体的には、女性のプライバシーに配慮したパーティションや、着がえるためのプライベートルーム、また高齢者のための簡易ベッドやアルミマット、夜間の避難所の消灯時のランタンなど、中長期の避難所運営に必要な資機材を考えております。

また、防犯対策でございます地域安全対策事業では、区内の犯罪発生状況等を地図に記入しました「見える化」などによりまして、警察や地域が連携した「見せる警戒」の効果的な実施や、子ども防犯教室の実施による子どもの犯罪対応能力の向上を推進する取り組みなどを行いまして、区民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりをめざしてまいります。

次に30ページをご覧ください。子育て支援の充実でございます。地域社会全体で子育て中の保護者を支援し、安心して子育てができる仕組みを構築していく取り組みといたしまして、昨年度から「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」を運用し、子育てに役立つ情報発信や、子育て中の保護者と地域のつながりづくりを支援してまいりましたが、引き続き子育て世帯の多様なニーズに応える支援の仕組みの充実を図っていくとともに、また仕事と家庭の両立が図られるよう引き続き保育所待機児童の解消に努めてまいります。

重点的な取り組みといたしましては、子育てネットワーク構築支援強化事業でございますが、今申し上げました「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」の取り組みにつきまして、平成27年度は地元商店街や大阪府の「まいど子どもカード」との連携や、乳幼児健診等のさまざまな場を通して、つながるクラブの登録者増を図りまして、また企業等と連携して子育てイベントを充実するなど、地域で安心して子育てができるよう支援の充実を図ってまいります。

次に31ページでございます。3番といたしまして、まちの魅力向上の取り組みでございます。多様な区民が参画して地域活動を発展させていくためには、若い世代を中心に地域活動の認知度向上と新たな担い手づくりの支援が必要であるなどを踏まえまして、「モノづくりのまち東成」の魅力を発信し、若い世代に東成のモノづくりのよさを伝えるとともに、地域が活発に活動できるような支援を行うことを基本方針といたしまして、平成27年度では重点的な取り組みといたしまして、新たな事業でございます「東成区の地域資源」魅力発信事業を実施いたしております。これは、すぐれた技術を持つ「モノづくりのまち東成」の魅力を内外にアピールすることで、東成のブランドイメージを高め、産業振興や住工共存、次世代育成等の課題解決に向け取り組むものでございます。

また、モノづくりの伝統と住宅と工場が共存するまち東成を次世代を担う子どもや、その保護者を対象とした工場見学などを通して、区民と企業との交流を深め、モノづく

りへの関心と、次世代への人材確保や育成等につなげていくモノづくりを通じた住工共存のまちづくり支援事業や、暗越奈良街道をテーマにいたしました「ひがしなり街道玉手箱」の開催を通じまして地域資源や、区民、各種団体等のネットワークを活用したブランドイベントとして地域のにぎわいづくりにつなげていく東成ブランドイベント・ネットワーク育成事業を実施してまいります。

また、自立的な地域運営を促進し、地域コミュニティの機能向上をめざしまして、地域活動協議会に対する財政的支援や、これまで区単独で取り組んできた事業や地域のための新たな課題につきまして、市民活動団体から提案を受け、その解決に向け提案者と区役所が協働して取り組む市民協働による公募型提案事業などを実施してまいります。

次に32ページの地域福祉と健康づくりの充実・推進でございます。地域社会における高齢者や障がい者への支え合いを充実するために、セーフティネットの構築といたしまして、平成25年から地域で取り組み、ご登録者も増えてきており、「おまもりネット事業」を活用した高齢者、障がい者等支援セーフティネット構築事業をさらに拡充してまいります。特に平成27年度は新たに65歳以上の高齢者全員に対しまして、個別に周知を行うことで、一層区内の高齢者への浸透を図りまして、登録者の拡大を図るとともに、昨年度に仕組みを構築いたしました有償ボランティアの積極的な取り組みを進めまして、多様なニーズへの対応と、新たな担い手の発掘に取り組み、地域でセーフティネット構築をさらに進めてまいります。

重点的な取り組みの1つ目が今申し上げました「おまもりネット事業」を活用したセーフティネット構築事業でございます。2番目といたしまして、新たな事業といたしまして「地域に根差した医療・福祉・介護の連携推進事業」を進めてまいります。これは、団塊の世代が後期高齢を迎える時代を見据えまして、在宅医療や在宅療養につきまして区民普及啓発を行い、地域や介護・医療機関などの他職種が連携できるような拠点づくりを支援する事業でございます。

また、その他の事業といたしましては、従来から継続しております、検診や地域医療及び生活習慣病に関する啓発活動や、地域ケア関係団体と共同で行う住民とともに考える健康づくり事業、それから感染症予防対策として、区で作成いたしました「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」と手洗いチェッカーを利用した啓発活動を子どもや高齢者など健康効果のある感染症予防、「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」などの健康づくりや感染症予防の事業を実施してまいります。

次に33ページでございます。情報発信機能等の充実ということで、重点的な取り組みといたしまして、広報・情報発信の充実に取り組んでまいります。これは、区の広報紙の区政だよりを区内の全世帯、及び全事業所にお届けできるようポスティングにより全戸配布行いまして、また合わせて区政情報だけでなく、地域の身近な情報を掲載するなど、情報発信の充実と区民の皆様に関わりやすい広報紙づくりを行い、区民満足度、区民サービスの向上に取り組むものでございます。

以上、簡単でございますが、平成27年度予算の概要についてご説明をいたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○清水議長　えらい済みませんでした。

それでは、ただいま平成26年度の東成区の運営方針の振り返ってということで、自己評価、並びに評価の概要説明でございました。27年度の東成区の予算につきましても概要説明がございました。以上、これで区からの報告は終わらせていただきまして、最初に申し上げましたように、本会は3部会が本会議に先立ちまして会議を開催いたしておりますので、3部会のほうから報告を願いたいと思います。

保健福祉部会から済みません、今日は議長が欠席でございますので、上田副議長さん、お願いできますか。

○上田委員　それでは、保健福祉部会副議長の上田でございます。本日、長田議長が欠席しておりますので、かわりに私のほうからご報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、早速でございますが、平成27年6月17日、午後3時より区役所にて開催されました保健福祉部会の報告をさせていただきます。当日は、委員11名中、8名の出席により有効に成立いたしました。

まず、平成26年度運営方針の振り返りについてでございますが、資料19ページをご覧になっていただきまして、経営課題6（健康）の中の①、住民とともに考える健康づくりについて、健康づくり講演会の壮年期層の参加を増やしていくために平日以外での開催も検討して欲しいとの意見がございました。また、健康寿命の延伸のためには、毎日の食生活がいかに大事であるか、まずそこに目を向けてもらいたいとの意見がございました。

続いて20ページ、経営課題7地域福祉についてです。①「おももりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業に関連いたしまして、東成区医師会では区民全員がかかりつけ医を持ち、困ったときは医師会の地域連携室に相談してもら

う計画があり、その上でおまもりネットというものは非常に大切であるとの意見がございました。

次に、保健福祉部会で今年1年間取り組んでいくテーマについての意見交換を行いました。健康づくりは、保健師が来て話をするだけでなく、食生活の大切さを取り入れて進めて欲しいとの意見が出ました。その意見に加えまして、食事は日常の病気の予防も兼ねることから、どういうものがどういう病気によいかを踏まえて講演内容に取り入れたらよいのではないかという意見がありました。さらに、講演を通じて生活習慣の改善や運動不足の解消につなげられないかという意見も出ました。これらの意見を踏まえまして、保健福祉部会では1年間検討するテーマにつきまして、「健康寿命を延ばすために」と設定し、次回以降の部会においてより具体的な取り組みの検討などを進めていきたいと考えております。

私からの保健福祉部会の報告は以上でございます。どうもありがとうございました。

○清水議長　　続きまして、子ども・教育部会から田中議長さんお願いできますか。

○田中（英）委員　　おはようございます。子ども・教育部会の田中でございます。よろしく願いいたします。座らせていただきます。

先日、平成27年6月17日、午後7時より区役所にて開催されました子ども・教育部会の報告をさせていただきます。当日は、委員15名中、12名の出席によりまして有効に成立いたしました。

まず、平成26年度運営方針の振り返りについてでございますが、資料17ページをご覧ください。経営課題4子育ての中の③保育所待機児童の解消について、子育て世代の現状として、まだまだ家の近くで預かってもらいたいという声や、もう少し遅くまで預かってもらいたいといったニーズがあることを踏まえて、今後の施策や計画を立ててもらいたいという意見がございました。また一方では、東成区はもっと親や家族が全面的に子育てに出てという形の何かそういうスローガンでいけないかという意見も出ました。

次に子ども・教育部会では、今年1年間取り組んでいくテーマについて意見交換を行いました。子育てについてテーマの案として、子育て家庭が孤立しやすい状況にある中で、子育て家庭と地域がつながりを持てば安心して子育てができるため、できるだけ早くからつながりを作っていくという観点から、妊婦と地域とのつながりをテーマに妊婦同士や、妊婦と少し先輩が交流できる仕組みを考えるのはどうかという提案がございました。

また、教育に関しては、子どもの体力について大阪は全国平均より下回る結果が出てい

るため、区内でさまざまな団体が行っているイベントや行事を活用して、健やかに子どもたちを育てるという観点で何かできることがないかを考えてはという提案がございました。そうした問題提起を踏まえて話し合った結果、子ども・教育部会で1年間検討するテーマについては、「子育てネットワーク青少年健全育成や体力づくり」を設定し、次回以降も部会においてより議論を深めていきたいと考えております。

私からの子ども・教育部会の報告は以上でございます。どうもありがとうございました。

○清水議長　最後ににぎわい・きずな部会のほうからお願いしたいと思います。

松山議長。

○松山委員　失礼いたします。にぎわい・きずな部会の議長を務めております松山でございます。

それでは、私のほうから先週19日に区役所で行われました会議の内容について報告をさせていただきます。座らせていただきます。

当日は、委員18名中、12名が出席いたしてございまして、会議は有効に成立いたしました。

まず、平成26年度の運営方針の振り返りについてですけれども、資料の13ページ、経営課題2番防災に関連してでございますけれども、災害が起こったときには学校が避難所になりますけれども、町会では町会未加入の把握ができない場合があることや、また地域での緊急物資の備蓄のあり方、また広報紙の全戸配布の件などについて意見がございました。

次に、平成27年度の予算概要についてですが、資料の29ページの1番安全・安心なまちづくりについてですけれども、防災用資機材とは具体的にどういったものが地域に配布されるのという質問がございました。これに対しまして区役所のほうからは、今回の事業には震災直後の訓練だけでなく、震災後の中長期の避難所を視野に入れて訓練を行っていただきたいという考えから、その際に役に立つ物品を各地域に提供しようと考えている。

具体的には、学校を避難所とする場合に必要となるパーティションやシート、簡易ベッドやマット等でございます。各地域で1種類ずつになるので、これによって中長期の避難所が開設できるというものではございませんけれども、各地域においてそうした観点が必要だと感じてもらえる契機としていただきたいという回答がございました。

その他、予算に関連いたしまして商店街の活性化や、災害用食糧の考え方、地域活動協議会の補助金、成人病センターの跡地の問題などについても質疑応答や意見交換を行いました。

最後ににぎわい・きずな部会で、今年1年間取り組んでいくテーマについて意見交換を

行いました。商店街の活性化や地域資源を活用してのまちの活性化について、また震災に備えてのきずなづくりの他、防犯カメラの設置など、多くの意見が出されました。そうした意見を包括いたしまして、にぎわい・きずな部会では1年間検討するテーマについては、「にぎわいづくりについて」と設定いたしまして、次回以降の部会についてよりテーマを絞り、議論を行いたいと考えております。

また、私の個人的な感想といたしましては、前回の会議よりも随分活発に意見交換がなされたと思っております。これにつきましても、自分たちのまちをよくしよう、大阪を少しでもよくしようという意識のあらわれだと思っております。

以上、にぎわい・きずな部会の報告をいたしました。ありがとうございました。

○清水議長　　ただいま、区役所のほうから説明がございましたし、3部会からも説明がございました。何かご質問等がございませんでしょうか。何かございませんか。

今回は3部会やっておられますんで、ちょっと質問が出にくいかわかりませんが、3部会の方々が他の部会に何か質問等ございませんか。

質問がないようでございますんで、今、濱田さんのほうから僕が質問したらいかんかという意見がございますんで、ちょっと副議長。

○濱田副議長　　質問がないようですんで、ちょっと気がついたところでございますが、予算の説明が多々全部計画であったんです。初めのカラーのきれいな説明のほうがありました、たしかにね。これはこれでいいとして、問題は概要の説明をするときに、予算枠を言わずに内容だけで説明した、予算の説明をするんやったら金額、予算額を言って説明されんと数字がなくてやったら事業報告みたいな感じで、やっぱり数字を入れてもらって、例えば安全・安心なまちづくりは436万3,000円という予算のもとにこういうことやりますと、いうように言ってもらったほうが聞きやすいんじゃないかなと、かように感じます。

それと、資料をせっかく作っていただいて、概要ですからかいつまんで説明されたんですが、書いてないこともようけ、自分の手元のほうにはあるんで、それを目で追いかけるとどこを読んでいるんか、しまいにはわけわからんへんなって、せめて皆さんに渡す違う資料が、国会の答弁と同じで書いてないこと言うとしまいに質問がこんがらがってくるのと一緒で、わけがわからんようになってくるような部分があるんで、できる限りその中で、また説明しようとするならば、その文言も入れて説明されたほうが、説明書を付けたほうが理解しやすいんじゃないかなと。聞いている側で全員が全員ここにおられる方全てがわかっているというのは、余りないと思う。ただ、自分の関係のとこだけ気にされて見ら

れておったんですが、私、今気がついたのは、そのように予算額を説明するという予算の数字を言わずに内容だけ説明されたのでちょっと、せっかく予算は4,000万あるんだとか、5,000万あるんだとか、1億あるんだとしても、その具体的な数字を含んで説明する概要の中では、予算額を言った後で説明されたほうがわかりやすいんじゃないかなと、かように思いました。

その他の各部会の説明については、それぞれの目標額先に事務局側が説明されておるので、同じようなことの繰り返しになるんで、この件については2回も言われておるから、それでいいかなというような気はしました。私も子ども部会のほうにおったんで、その子ども部会の検討の件はよくわかったんですが、他の部会についてはわからんというか、ちょっとあれだなというような部分もありましたが、ただ、気になったのは子ども部会については予算もそのまま、仮に達成できなくても少し低い数字なんですけどね、それが年寄りのほうになると目標が70%に達して、例えば54%と非常に少ないと。年寄りを出て来る人は余り関係がないというか、十分何回も出て来られてよくわかるんですが、外に出られない人がおるんじゃないかということに対して、もう少し地域の中で年寄りに対する目標達成数値を上げるように努力されたらいいんじゃないかなということを感じました。誰も質問しないし、誰もしゃべらないんで、間が悪いんでちょっとしゃべらせていただきました。

○清水議長　中野さん質問がございすんで、マイクどうぞ。

○中野委員　ありがとうございます。質問その1。地域力について、ページでいうと7ページですね。運営方針の達成状況ということで、達成状況ペケが4つあります。このペケ4つについて、今後どのような対策を考えておられるかということをお役所のほうから答えを言っていただきたいということと、具体的にね。私なりにこうしたらええやないかなという思いは持っておりますので、皆さんと一緒に検討していきたいと思っております。というのは、私たちはにぎわい・きずなのまちを担当した部会でございます。それに伴って、この地域力が非常に、9つのうちの4つペケということで、丸が5つであると。これ今見せていただいています。なるほどそうやなと思っております。一体、東成区をどんなまちにすんねんやということを考えていったら、私は行ってみたいまち東成、住んでみたいまち東成、やるのが夢やないかなと思っております。現在、どうなっているか。空き家が増えて、更地が増えて人口が減って、ひとつつも進化してません、減衰してます。これでいいんでしょうか。いうのが区政会議の議題に上がってもいいやないかなと思っております。

それで、私なりにボランティアってどんなもんやということを考えてみました。ボランテ

ィアです。名前だけでボランティアと言えるのか、決してそうやない。ボランティアする人は本当に熱いもんが、本気でかかっていかんとあかんのがボランティアじゃないかなと思ってます。お金ももらわれへんの、お金も入ってけえへんのに何でそんなことすんねん、そんな人は結構です。ボランティアする人は本当に熱いもんを持った人がおられます。それとスキルを持った人ですね。そういう人が集まった集団、ボランティア集団を結成していきたいなと思っております。いくべきやと思っております。東成区を考えたからですよ。個人の考え、こんなの関係ないことです。東成区を考えたらどんな東成区、冒頭に言ったように世間から行ってみたいまちやな、住んでみたいまちやな、するのがもちろん行政であり、東成区民ではないでしょうか。そういう思いでおります。

それと、連合と連合。これ感じるところがあるんです。私の入っていく問題じゃないですけれども、深江だけやなしに神路さん、今里さん、いろいろ連合あります。これが1つになって東成を形成しているんじゃないでしょうか。それが、何か見え隠れしていつて残念やなと思っております。その辺も考えながらまちづくりをしたいという思いでおります。

それと、今考えておりますのは、テーマについてです。先ほど商店街の活性化ということが大きく上がりました。活性化、皆さん活性化、一口では活性化です。一口で言うては何もなりません。私たちが動くか行政が動くか、やらなければ何もなりません。言うだけで、本当に終わったら残念やなと思います。

それと、商店街のないところ、まちづくりですね。商店づくり、そんなことも考えたらええんやないかなと思っております。

それから、時代は進んでおります。毎日毎日、日進月歩進んでいます。我々の活動は今までどおりではだめなんです。これからの活動は、その時代を眺めて、ときの流れに従って活動していかとだめやと僕は思います。

そんなことを考えていったら、今の組織でいいんでしょうか。まちづくり活動協議会、5年ほど前に大阪市からいただきました。なるほど、ええ組織です。これには深江といたしましては敬意を表してしっかりと取り組んでます。これは取り組んでいくんやと思います。

それともう一つ、まち協と連合が何やという話をちょっと耳にしたことがあります。まち協が連合が何やと。まち協があつて連合があるんやないかと思っております。まち協ほどすばらしい組織はない。でも、まち協でできないことがあります。それが新しい組織なんです。その新しい、ニュー組織を作ろうやないかということで立ち上がってます。それど

んなことするんやと。簡単なことです。まち協でできないことやるんやと。それがニュー組織やということを思っております。それが創生なんですね。創生プロジェクトというのは、各、東成区で作り上げたらいいんじゃないかと僕は思っております。連合町会長も忙しい。そして、各団体の長、団体活動も忙しい。それやったら新しい組織、時代にあった組織、プロジェクト作ることですね。創生プロジェクトいうのを作ったらどうですか、というような考えで発信しております。大概の賛同を得ながら、1人で発信するんやなしに、地域の皆さんが会議しながら、意見を1つにまとめて、そして創生プロジェクトを立ち上げております。ということで、これにおきましては、会議、会議づめでございます。会議の必要性についても、皆さんこうして区政会議に出て来られてるんですから、その必要性をしっかりと認識しながら会議をやっていった欲しいと思います。それがまちづくりではないでしょうか。区政会議ではないでしょうかという思いでおります。どうもありがとうございます。ちょっと区役所のほうでお願いします。

○河合課長　　予算の説明でわかりにくいというご指摘をいただきました。ありがとうございます。確かに金額のほう申し上げておりませんでしたので、わかりにくい部分が多々あったかと思います。貴重なご意見としていただきまして、また改善してまいりたいと思います。ありがとうございます。

○中浦課長　　先ほど中野委員のご質問で、ペケがついている運営方針の件でご説明させていただきます。まず、私のほうからは戦略の1-2ということで、1-2-1です、区民による公益的活動の創出・発展支援事業と、その下の1-3-1でございます。これ中身は一緒でございます、ページで申し上げますと資料3の11ページをご覧いただきたいと思うんですが、ふれ愛パンジーを活用して公益的活動を創出または発展させていくということと、区民さんから提案いただくというような内容でございます。これにつきましては、説明でもあったと思いますけれども、今回この点の提案をもらわずに、予算化をまず行った上で公募をやっていくということで、補助金制度と提案制度ということで、予算枠をとっているところでございます。今年度実施していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○原課長　　済みません、引き続きまして私のほうからページ数でいきますと、資料3の10ページでございます。中野委員からありました未達成の分野ですけれども、③の地域コミュニティの支援、それから④の活力ある地域社会づくりの支援、この2つについて達成目標を少し下回っております。特に、③のほうは地域コミュニティの支援でありますけど

も、これは中間支援組織、まちづくりセンターの取り組みに対する評価となっております。

まちづくりセンターについては、昨年の区政会議でもご批判をいただくなど厳しい状況もありましたけれども、その意見を受けまして年度途中から体制を強化しながら丁寧な支援を図ってきたところです。特に中野委員からありましたが、先日も例えば、中野委員と私も一緒に行かせていただきましたけれども、兵庫県の姫路市の家島諸島のまちづくりについて現地訪問して学んでまいりました。まちが少し衰退している中で、まちおこしのような形で観光をメインにしながら家島の魅力を発信して行って、大変多くの方を集客している状況になってるんで、それを一緒に学んできました。その家島でのまちづくりの立ち上げに関わったのが、実は今、我々の東成区でまちづくりセンターを受けていただいております大阪NPOセンター。ですので、今回のこの非常に有意義な取り組みについてもNPOセンターがまちセンであったことによって達成できたというか、つながりが持てて、そのことによって東成区のそれぞれの地域、中野委員でしたら深江ですけども、魅力をいかに発信していくかということについて非常に参考になったと思っております。達成状況は未達成でございますけども、このように市民活動について非常に見識が深かったり、それからネットワークが非常に豊かなまちセンが東成にあるということを区役所としては、非常に大切にしながら、そのことが東成区の各地域の取り組みにとって有意義なものになりますように引き続き区役所も精いっぱい頑張っていきますので、今回未達成ですが、もう少し見ていただきたいというふうに思いますので、ともによろしく願いいたします。

○清水議長　　中野さん、それでいいですか。

○中野委員　　いやいや、1人で話しとったら時間になってまうでしょう。

○森本区長　　議長、ちょっとよろしいですか。

先ほど、中野委員のほうからも連合と連合が結びついて、地域と地域がそれぞれではなくて、東成区を形成してるんじゃないかということも言っていたいたと思うんですけども、それぞれの地域が先ほど言いましたように、広報紙であるとか、例を挙げて申し訳ないんですけど、ハロウィンのパーティーであるとか、いろんな取り組みをしていただいております。そういういい取り組みをみんなで勉強しようじゃないかということで、去年度から交流会みたいなことを開かせていただいておりますので、そういう場で、例えば区内だけではなくて、他の区の方もお招きさせていただいて、学んでいただいたり、逆に他の区も来てねということで行っていただいたりしてしますので、いい取り組みがさっきみたいに広がって、みんなが東成区だっていう思いがしていただくのは本当に区にとってもあり

がたいことなので、そういう動きは作っていただきたいし、こちらのほうもそれを支援していきたいと思っております。

それから、新しいやり方もいろいろあるんじゃないかということにつきましては、こちらのほうも勉強しまして、ご一緒に、さっき課長の原のほうが申しましたようにいい取り組みができるように行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○清水議長　いいですか。マイク持って行きましょか。はい、どうぞ。

辻さん。

○辻委員　にぎわい・きずな部会の議論は大変盛り上がりまして、ここで改めてご報告の追加をするわけではありませんけれども、その中で、私、評価の中で、効果的な防犯体制の充実というのに丸が付けてあるのが、ちょっとそうじゃないかなというふうな感じがするわけです。我々の中で話したことは、実際には、地域の皆さん、皆さんではありませんけれども、声として、やっぱり公園に時計を付けて欲しいとか、公園に防犯カメラですね。今、非常に東成にしても大阪にしても本当に防犯の点では、全国的には恥ずかしいような数字になっておりまして、これで丸を付けられたんでは、やはり違うのではないかなというふうに思います。あんパトさんとか巡回しておられるということは大変評価をするんですけれども、子どもたちが集うような場所に、やっぱりしっかりとした防犯の体制を作っていただきたいということと、待機児、これは私も専門の部外ですけれども、待機児童の解消です。待機児童はないけれども、実際には待っておられる方がいらっしゃるとか、さまざまな意見ありますけれども、こういう子どもたちを1人で親が育てるというのは物すごい大変なんですよ。だから、見ておりまして、今、おやじカフェとかさまざまなサロンがありますけれども、そういうものも地域の中で子育てを応援するようなサロンを作っていっていただけたらありがたいなと。1人で子育てしているお母さんというのは、非常に公園で見ておりまして大変でして、学童とか保育所とか、そういうところに入っているという方々は安心なんですけれども、1人で子育てをしているというような方が大変な思いを持って訴えられる方もいらっしゃいますので、おやじカフェもいいです、地域のサロンも大変いいんですけれども、子育ての面でもそういうことを考えていただけたらありがたいなというふうに思います。

もう1点は、平野川の浄化の問題で、これは我々の部会で出たんですが、これは何も我々の部会だけの問題ではなしに横断的な問題ですので、これも東成区としても十分に取組んでいただきたい。ヘドロが非常にたまって、夏場などは大変臭いもきついというよ

うなことも聞いておりますし、そういう状況をしっかりつかんでいただいて、浄化の問題については東成区として取り組んでいただきたいというふうに要望しておきます。部会で出た意見ですけれども、要望しておきたいというふうに思います。以上です。

○清水議長　　中野さん。

○中野委員　　ありがとうございます。今、平野川の話とか、商店街の話とか、テーマとして僕は一番取り組みやすいのは商店街の活性化、そして商店づくりというのが一番取り組みやすい。これ本気でかかっていったら何とかなるんやけど、本気度が第一やと思います。上辺だけでは絶対だめです。ということと、平野川の話。大変汚い川やということで、今、辻さんからも報告ありました。いろんなことで活動していただいて、大分きれいになったというのが今の姿です。それは本当にその努力を非常にありがたく買っております。でも、平野川について考えるときが来たんやないかと思います。というのは、あの平野川、本当に古い時代の平野川です。排水路というか、そういうような感じで下水が流れとるとか、というような感じで今活用しているのは事実やとは思いますが、活用方法ころっと変えて、あの川を何とかしようやないかというのが区政会議でテーマとして取り上げていったらどうかと。今日明日でなる問題ではございません。10年かかるやら20年かかるやら、いつの時代にそうなるかわかりませんが、アクションを起こすということが大事なことです。というのは、僕の夢は、この間も部会で言いましたが、平野川、一番近いところから言うと、せめて東成区でも魚釣り場を作ったらどうかとか、それから遊歩道を作ったらどうかとかいうような、一番近い回答でございますけれども、行く行くは平野川を使って大阪の市内へ、大川へ行けるような船を浮かべて観光化していったらどうやと。今、観光化されているのは、東成区全然ありません。中央に行かなありません。そのような現状でございます。東成区、手ぐすね引いて待ってるんか、待ってたら絶対だめです。テーマとして発信せんとだめです。これを今議員さんも来られております。市議員さん二人おられてます。我々の力ではどうにもなりません。議員さんの力を活用、お願いしながら、そしてもう一方で、国の力を借りて平野川の活性化に取り組んでいったらどうかなと思っております。我々のできんことを何で会議するんやなしに、東成区をどうするんや。すみよいまち、1回行ってみたいまち、どぶ川のあるまち行ってみたいですか。決してそうやないです。夢のある船を浮かべて大川まで、観光船として、観光船が通ってる川やというような川をめざして、それまでには物すごくハードルがあります。そのハードルを一つ一つ、ゆっくり早くクリアしながらやっていったらどうかなという大きなテーマを考え

る必要があるんじゃないかなと思っております。以上です。

○清水議長　　今、そういう意見出ましたけど、私もこれ20年ほど前に言うてるんですよ。東成の今いうたら、東中本公園ですか、あそこに木を植えて、中に池とかを作って東成行ったらチョウチョウが飛んでるな、トンボが飛んでるな、蛍が飛んでるなと、そういうこと言うてましたね、記念誌に載っていると思います。それから、今、大川までという話がありまして、それで実際災害が起こった場合に陸上やら火災が起これと。あの運河を使うと20分ぐらいで市役所まで行けるんです。それでやってみたんです、私。東成区の地域振興会でボートを買おうやないかというてやり出したんです。ところが、下から上がってきましたら頭がつかえまして、橋に。もうこうしなあかん。恐らく行きはった人は知ってはると思いますけど、私もずっと大川から曲がりまして、それでちょうど寝屋川ですか、あそこも平野川の分水が入るところに信号があるんです、信号が。あんなところに信号があるんやないと初めて見たんですけど、ずっと上がってきたらほとんど頭つかえるんです。だから、ほんなら僕ら深したらいいなという案も大分言うたんですけど、いったら無理なんですよ。しかし、川の浄化だけは、これは市議員さん頑張ってもらわなあかんと思うわ、ほんま。上流がしっかりしなあきまへんねん。何ぼ、平野で東成頑張っても上からもの放るわけでしょ、本当。川上をしっかりしてもらわなあかんと思うわ。僕らいつも言うてるんですけど、やっぱり市議員の方、もっと大事なことがあるんですよ。今里ロータリーのガスの排気、これワーストワンかつーです。そんなとこに今住んでるんですよ。僕、それ前から言うてるんですが、何しろ議員さん言いよんねん、できないからね。昔は立体交差やるかということまで行ったんです。そういうこともあるんですけど、そういうことはやっぱり行政にタッチされる、何いうても市民の代表である市議員さんがやってもらわなあかんと思うわ。今、ああいうような中野さんから意見出てましたけど、実際、気持ちは皆同じやと思うんです。

　　連合の話出ましたけど、連合は連合で毎月1回、区長さんご存じのように会議やってまして、この地域振興会は、もしも災害があったら赤十字奉仕団になるというような観点で、もしも災害が起こったら厚生省と、それから日赤と締結してますんで、だからそういうような活動をするという団体でございます。また、今度の地活協とはまた違うんです。そのために、今まで地域振興会に来た金が今、地活協に行ってる。金のあるところに行くんですよ、人間おかしなもんで。昔は日赤奉仕団が一生懸命やってましてボランティアで。それで、あんまり回覧板とかそういうものが多いから、何とか援助してもらえんか言うたら、

日赤奉仕団にはできませんと。では、地域振興会を作って応援しましょ、新しく。ほんなら日赤奉仕団のほうが小さくなりまして、金のあるほうへ行くんです。今もそうなんですよ。活動だけしてるかいうたら、地域振興会ですよ、ほとんどが、そうでしょ。その金使ってるやないですから、地域振興会が。盆踊りにしろ、それから敬老会でも、予算組んで使ってはりますがな。今までは、盆踊りなんてお金使ってませんよ、言うて悪いけど。それから、敬老会も1文も使ってませんよ。皆、地域でやってました。地活協ができて、75%が言われるからそういう方面へお金を使わなあかんようになったんですよ、これ。だから、いろんなお金来てますけど、僕らから言わせたら、こんなのはなかってもできるんですよ、ほんまの話が。やり方ですわ。言うて悪いですが、東成の連合なんて1文も使ってませんもんね、これ。体育祭にしろ、全部自分とこの運営費でやってますから。だから、何しろお金が行くところに皆が集まっていくと。だから、言うてはったけど、ボランティア精神と何で。ほんまに無料でやって、ほんまの熱心さがなかったらできません、熱意がなかったら。昔、やっぱり東成区の社協でボランティアを募集したんですよ。200人から登録があったんです、登録が。ほんで、そのときにヘルパーの試験を、ヘルパーが少ないからいうて、ヘルパーの試験いうか研修会ですか、受けてヘルパーの資格をとるとお金になるんですよ。ボランティアが減ってもうて。そっち行ったんですね。だから、お金を添えるということは、果たしていいか悪いか。何でもお金使ったらええわじゃない、だめやと思いますね。僕の考え方古いかしりませんが、実際ほんまにボランティアであれば無償でできますわ。僕はそう思ってますね。濱田さん、そうやないですか。

○濱田副議長　結構です。

○清水議長　そういうことだけ、本当、はい。要らんことしゃべりましたけども、質問他にございませんか。

どうぞ。篠崎さん。

○篠崎委員　お願いなんですけれど、会議の進め方、役所さんは簡素化を進めるということって言われてるんですけど、やっぱり参加者皆さんかって発言をしたいっていう気持ちは大いに持っていると思うんです。そういう点では、ほんまに発言できる機会がないと思うんです。そこをちょっと考えていただきたいと思いますし、部会で今日の報告は聞いて2回目聞くんですから、そういうこともちょっと考えていただきたいなど。だから、進行方法、進行のやり方ちょっと検討して欲しいなと思います。

○清水議長　部会の報告は、これはおたくはどこの部会に属してはるんですか。

○篠崎委員　にぎわい・きずなです。

○清水議長　他の方知りませんねん、これ。部会の報告は。だから、部会は部会でやっぱり報告してもらわな。

○篠崎委員　皆さん。

○清水議長　皆さん知らんことですからね、他の方は。同じ部会の方はわかりますけど。だから、部会の報告をしてもらうということになっておるわけです。だから、ここにはシナリオはありません。私とこ手元には。私、これ見ながら勝手にやってまんねん、進行は。気に入いませんか。

○篠崎委員　現実、これもこれも皆こないだ部会でも聞いてますから。だから、今日また報告ありますやん、これも。そんなんよりも皆さんからの意見を多くいただいたほうがいいのん違うかなと。いったら、まとめと予算案についての今後の問題についてやから、そういう点の時間の短縮をしていただいてもいいんじゃないかなと思うんですけど。

○清水議長　いや、だから質問があったらやってくれはったらよろしいねん、ここで。そうでしょう。そのための議会でしょ、これ。部会は部会ですやん。これ全員で集まってやってもらうんでしょ。だから、ここでどんどん発言してもうたらええわけですよ。最前からご意見ございませんか、私何遍も言うてるやないですか。そうでしょ。手挙げて堂々とやってくださいよ、あれば。部会の報告は要らんとか言われたら、これそうやないです。皆さんに知ってもらおうと思ってやってるわけですから。これ、違いますか、皆さん。抜いたほうがいいですか。やっぱり、やったほうがいいでしょ、と思いますわ。やっぱり知らんことは聞いてもろたらええわけで。おたくのおっしゃっているように、予算を聞いたかったらここで堂々と聞いてもろたらええのちゃいます。難儀なことに、この会は決定権がないんです、前から言うてるように。ここで何遍発言しましても、変わりませんねん、これ。けったくそ悪うてね、私も。そのくせ、やってまんねん。

○篠崎委員　私も報告したらあきませんなんて言うてません。時間の短縮を考えてやっていただいたらいいんです。

○清水議長　だから、どんどんどんどん発言していただいたらええんじゃないかと思えますよ。

時間も一応12時までということでございますんで、一応これで閉会させていただきたいと思います。

本当にありがとうございました。

(拍 手)

○笹部課長 議長、委員の皆様方、スムーズな議事の進行にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。各部会並びに本日の区政会議におけるご意見につきまして、は外部評価をいただいたご意見として大阪市も市公表してまいりたいと思います。

また、平成28年度の運営方針の策定につきましては、11月ごろの予定となりますので、その後、確定に際し10月前後に区政会議を開催したいと思います。その際には、また具体的なご意見を賜ってまいりたいと考えております。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

これを持ちまして、平成27年度第1回目の東成区区政会議を終了いたします。

本日は、ご苦労さまでした。

—— 了 ——

6 配付資料 添付のとおり